

# 書窓

Shoso

No.340

2013.6

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鶴

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

## 図書館に通って

本とわたし

322

大木 友有子

小学生の頃、日曜日になるときまつて、電車に乗って、父と妹と図書館へ通いました。そこは子供のコーナーが畳になっていて、長い時間寝ころんで読んでいた記憶があります。借りる時には、日付印をポンと押してもらいました。その瞬間、本が自分のものになったような、何とも充たされた気持ちになりました。

その頃の懐かしいにおいが、ここにはあります。太子町に移ってきて七年。上の子が小さい時は、毎週土曜日、おはなし会でお世話になりました。下の子がお腹にいて、あまり出掛けられなかった時、上の子にはとにかく絵本を読んできかせました。その甲斐あつてか、絵を描く事、読書の好きな子に育ちました。

現在中学生の長男は、『せいめいのれきし』『おさるとぼうしうり』『へんなどうつぶ』『おばけのジョージ』…。挙げるときりがありませんが、この四冊は特に好きでした。

それ以外に、アジアの昔話や『三国志』が気に入りましたが、最近ようやく『名探偵カトレくん』などの西欧の探偵ものを手にとるようになりました。物語の中で危ない橋を渡り、思いきり冒険してほしいものです。

小学生の長女は、山脇百合子さんの絵が大好きで、絵を頼りに選びます。『べんけいとおとみさん』はお気に入りの一冊です。私の勧める本も読みますが、基本的に本人に選ばせて、その時々の子供の興味や変化、成長を感じたいと思っています。

私はここ数年、春になると「赤毛のアン」の世界が恋しくなり、アンが暮らしたグリーンゲイブルズで、緑豊かな生活を楽しんでいます。秋から冬にかけては、「シャーロック・ホームズ」。夜、布団をかぶりながら、ハラハラ、ドキドキが至福の時間です。最近読んだのは、『ハックルベリー・フィンの冒険』です。幼い頃、好きになれなかった野生児が今は、我が子のようなかわいさでした。今度は何を読もうかしら。温かい雰囲気の中で、次の週末も司書さんに、お勧めの本を紹介して頂こうと思っています。

(太田)

# 新着図書紹介(ノン・フィクション)

2013. 6

| 書名                                | 著者           | 出版社          | 請求記号  |
|-----------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 立花隆の書棚                            | 立花 隆         | 中央公論新社       | 019   |
| 古代ギリシアの精神                         | 田島 正樹        | 講談社          | 131   |
| ココロの美容液                           | 香山 リカ        | 文藝春秋         | 159   |
| 江戸の風評被害                           | 鈴木 浩三        | 筑摩書房         | 210.5 |
| 実録相沢事件 二・二六への導火線                  | 鬼頭 春樹        | 河出書房新社       | 210.7 |
| 幕僚たちの真珠湾                          | 波多野 澄雄       | 吉川弘文館        | 210.7 |
| ミステリアス・ケルト 薄明のヨーロッパ 新版            | ジョン・シャーキー    | 平凡社          | 230.3 |
| ヨーロッパ文明の正体 何が資本主義を駆動させたか          | 下田 淳         | 筑摩書房         | 230.5 |
| 声を届ける 10人の表現者                     | 梯 久美子        | 求龍堂          | 281   |
| 〈三越〉をつくったサムライ日比翁助                 | 林 洋海         | 現代書館         | Bヒビ   |
| マヨラナ 消えた天才物理学者を追う                 | ジョアオ・マゲイジョ   | NHK出版        | Bマヨ   |
| アイルランドモノ語り                        | 榎木 伸明        | みすず書房        | 293.3 |
| 消えた国追われた人々 東プロシアの旅                | 池内 紀         | みすず書房        | 293.4 |
| それでも人は生きていく 冤罪・連合赤軍・オウム・反戦・反核     | 瀬戸内 寂聴       | 皓星社          | 304   |
| 新法対応! ネット選挙のすべて 仕組みから活用法まで        | 飯田 泰士        | 明石書店         | 314.8 |
| 経済成長って、本当に必要なの?                   | ジョン・デ・グラーフ   | 早川書房         | 331.1 |
| 工学部ヒラノ教授のアメリカ武者修行                 | 今野 浩         | 新潮社          | 377.2 |
| にほんのあそびの教科書 こどもたちへ伝えたい...         | にほんのあそび研究委員会 | 土屋書店         | 384.5 |
| お墓に入りたくない! 散骨という選択                | 村田 ますみ       | 朝日新聞出版       | 385.6 |
| 世界を変えた数学                          | 佐藤 修一        | 角川学芸出版       | 410.2 |
| 知りたい! 地球はどうやってできたのか?              | 鳥海 光弘        | 宝島社          | 450   |
| おもしろ遺伝子の氏名と使命                     | 島田 祥輔        | オーム社         | 467.2 |
| 動物は何を見ているか                        | 日高 敏隆        | 青土社          | 480.4 |
| なぜあなたは食べ過ぎてしまうのか                  | 岡寄 順子        | 講談社          | 493.1 |
| 画像ではわからないしつこい腰の痛みを治す本             |              | 講談社          | 493.6 |
| 起立性調節障害がよくわかる本 朝起きられない子どもの病気      |              | 講談社          | 493.9 |
| 老ける老けないは目で決まる!                    | 服部 匡志        | すばる舎         | 496   |
| 極上のアンチエイジングレシピ                    | 勝田 小百合       | 主婦の友社        | 498.5 |
| よい製品とは何か スタンフォード大学伝説の「ものづくり」講義    | ジェイムズ・L・アダムズ | ダイヤモンド社      | 502   |
| ネックから編む優しいニット                     |              | 日本ヴォーグ社      | 594.3 |
| おかず七変化 リメイク&味つけのアイデア満載!           | 武蔵 裕子        | 主婦と生活社       | 596   |
| じゃがたまにんじんおかず帖                     | 重信 初江        | 主婦の友社        | 596.3 |
| ラクチン・元気幼児食レシピ 「好き嫌い」「小食」「食べすぎ」解消! | ひよこクラブ       | ベネッセコーポレーション | 599.3 |
| 動物による農作物被害の総合対策                   |              | 誠文堂新光社       | 615.8 |
| 四季折々に楽しめる小さな庭づくり                  | 加地 一雅        | 講談社          | 629   |
| 貨物列車のひみつ                          |              | PHP研究所       | 686.6 |
| 一生に一度は泊まってみたい奇想天外ホテル              | デIMITリス・コッタス | エクスナレッジ      | 689.8 |
| 受胎観音への軌跡                          | 中村 愿         | 山川出版社        | 721.9 |
| モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん            | 岩井 希久子       | 美術出版社        | 724.9 |
| はじめてみよう! 楽しいハワイアンチョークアート          | 小松 由季        | 二見書房         | 725.4 |
| 学校では教えてくれない人生を変える音楽               | 雨宮 処凛        | 河出書房新社       | 760.4 |
| 「ごちそうさま」を英語で言えますか?                | デイビッド・セイン    | アスコム         | 834   |

# 新着図書紹介(文学・児童書)

2013. 6

| 書名               | 著者           | 出版社    | 請求記号 |
|------------------|--------------|--------|------|
| いつも彼らはどこかに       | 小川 洋子        | 新潮社    | オガ   |
| 家族写真             | 荻原 浩         | 講談社    | オギ   |
| 聖痕               | 筒井 康隆        | 新潮社    | ツツ   |
| ああ父よああ母よ         | 加賀 乙彦        | 講談社    | カガ   |
| 余命1年のスタリオン       | 石田 衣良        | 文藝春秋   | イシ   |
| 愛に乱暴             | 吉田 修一        | 新潮社    | ヨシ   |
| 美しい心臓            | 小手鞠 るい       | 新潮社    | コデ   |
| 聖なる怠け者の冒険        | 森見 登美彦       | 朝日新聞出版 | モリ   |
| 昨夜のカレー、明日のパン     | 木皿 泉         | 河出書房新社 | キザ   |
| 調律師              | 熊谷 達也        | 文藝春秋   | クマ   |
| 東京ダンジョン          | 福田 和代        | PHP研究所 | フク   |
| 暮れていく愛           | 鹿島田 真希       | 文藝春秋   | カシ   |
| 往古来今             | 磯崎 憲一郎       | 文藝春秋   | イソ   |
| かまさん             | 門井 慶喜        | 祥伝社    | カド   |
| 俺は駄目じゃない         | 山本 甲士        | 双葉社    | ヤマ   |
| 崩壊               | 塩田 武士        | 光文社    | シオ   |
| ゾーンにて            | 田口 ランディ      | 文藝春秋   | タグ   |
| たまさか人形堂それから      | 津原 泰水        | 文藝春秋   | ツハ   |
| ときぐすり            | 畠中 恵         | 文藝春秋   | ハタ   |
| 来春まで お鳥見女房       | 諸田 玲子        | 新潮社    | モロ   |
| 多助の女 盗賊火狐捕物控     | 村木 嵐         | 実業之日本社 | ムラ   |
| 武士喰らい            | 矢野 隆         | 新潮社    | ヤノ   |
| ふたり女房 京都鷹ヶ峰御薬園日録 | 澤田 瞳子        | 徳間書店   | サワ   |
| くるすの残光 いえす再臨     | 仁木 英之        | 祥伝社    | ニキ   |
| 風屋敷の告白           | 藤田 宜永        | 新潮社    | フジ   |
| クローズアップ          | 今野 敏         | 集英社    | コン   |
| グランドマンション        | 折原 一         | 光文社    | オリ   |
| 友罪               | 薬丸 岳         | 集英社    | ヤク   |
| 最後の桜 妻・大庭みな子との日々 | 大庭 利雄        | 河出書房新社 | 910オ |
| 双眼鏡からの眺め         | イーディス・パールマン  | 早川書房   | Fパル  |
| シャーロック・ホームズ絹の家   | アンソニー・ホロヴィッツ | 角川書店   | Fホロ  |
| 機械男              | マックス・バリ      | 文藝春秋   | Fバリ  |
| 白い人びと ほかに短篇とエッセー | フランシス・バーネット  | みすず書房  | Fバネ  |

## 児童書

|                       |           |          |          |
|-----------------------|-----------|----------|----------|
| 自然がつくるかたち大図鑑          |           | PHP研究所   | 400      |
| この羽だれの羽?              | おおたぐろ まり  | 偕成社      | 488オ     |
| シリーズ昔の農具2 かま・千歯・とうみ   | コードモクラブ   | 農山漁村文化協会 | 614コ     |
| あかちゃんぐまはなにみたの?        | アシュリー・ウルフ | 岩波書店     | えほんウ     |
| すいぞくかんのみんなの1日         | なかの ひろみ   | アリス館     | ちしきのえほんナ |
| 三本の金の髪の毛 中・東欧のむかしばなし  |           | のら書店     | むかしばなしマ  |
| まめじかカンチルの冒険 インドネシアの昔話 | 松井 由紀子再話  | 福音館書店    | むかしばなしマ  |

## かしこいビル

ウィリアム・ニコルソン さく

まつおかきょうこ・よしだしんいち やく

(ペンギン社)

ある日、メリーにおばさんから手紙が届きました。「うちへあそびにいらっしやい」。メリーは荷作りを始めました。

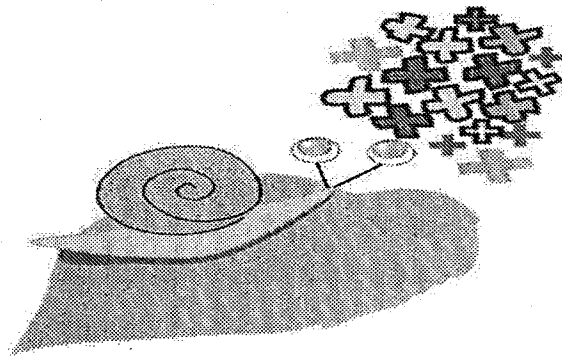
木馬のアップル、毛皮のついた手袋、人形のスーズン、笛、靴、ティーポット、ブラシ。それから、もちろん近衛兵人形のかしこいビルを置いていくわけにはいきません。メリーは、トランクを出し、あれこれ試しながら荷物を詰めてみました。何度も詰め直しているうちに、時間がなくなり、とにかくめちやくちやに押し込みました。そうしたら、なんと！ビルを入れ忘れたのです。でも、ビルは起き上がって、走って走って、全速力で走って、とうとう駅でメリーに追いつきました。「かしこいビル！」

文章は簡潔ですが、細かい部分まで描かれた大きな絵が、多くのことを物語っています。必死に列車を追いかけるビルを応援したくなりま

す。読んでもらえば三歳くらいから。(小西)

子どもの本だな 156

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。



## イルカの夏

カテリーネ・アルフライ作

矢川澄子訳 (岩波書店)

アンドルーラは、エーゲ海の小島にお母さんと二人で暮らしています。お父さんは海で亡くなり、お母さんは機織りや近所の人の手伝いをして暮らしを立てていました。

ある日、村の女の子と取っ組み合いの喧嘩をし、小さな入江にかくれて海を眺めていたアンドルーラは、見慣れた二つの島の間に、夕日に輝く小島をみつけました。数日後もう一度小島を見て出かけた入江で、アンドルーラは水の中から呼びかける声を聞きました。イルカが話しかけてきたのです。アンドルーラはイルカにねだられるままにブドウを一粒ずつほおって食べさせてやりました。その日からアンドルーラは毎日のように入江に通い、イルカから昔話を聞かせてもらい、泳ぎを教わり、イルカにまたがってあの夕日に輝く小島に連れて行ってもらいました。アンドルーラは、ヤギ足をしたパーンの子どもたちにダンスを教え、ケンタウロスにのって島を駆け巡るのです。

まばゆい光、野の花の香る楽園のようなギリシアの自然の中で、遊びたわむれるアンドルーラが生き生きと描かれ、思いがけず親子に幸せが訪れる結末にも満足します。九歳くらいから楽しめます。

(片木)

◆おはなしの時間・絵本の時間に来てください◆

《おはなしの時間》

毎週土曜日に、おはなしの部屋で開いています。

- ・ 11:00～ (4歳から小学2年生)
  - ・ 11:30～ (小学3年生から中学3年生)
- 6月は「チム・ラビットのあまがさ」「ジャックと豆の木」などを予定しています。

《絵本の時間》

毎週木曜日、午前11時から(約30分)

2、3歳のお子さんが対象です。お母さんお父さんといっしょに楽しんでください。

6月は『スモールさんはおとうさん』を予定しています。

6月の開館日

| 日             | 月               | 火             | 水  | 木  | 金  | 土  |
|---------------|-----------------|---------------|----|----|----|----|
|               |                 |               |    |    |    | 1  |
| 2             | <del>3</del>    | <del>4</del>  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9             | 10              | <del>11</del> | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16            | <del>17</del>   | <del>18</del> | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23            | 24              | <del>25</del> | 26 | 27 | 28 | 29 |
| <del>30</del> | (30日は館内整理のため休館) |               |    |    |    |    |

7月の開館日

| 日  | 月             | 火             | 水             | 木  | 金  | 土  |
|----|---------------|---------------|---------------|----|----|----|
|    |               | <del>1</del>  | <del>2</del>  | 3  | 4  | 5  |
| 7  | 8             | <del>9</del>  | 10            | 11 | 12 | 13 |
| 14 | <del>15</del> | <del>16</del> | 17            | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22            | <del>23</del> | 24            | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29            | <del>30</del> | <del>31</del> |    |    |    |

×印は休館、□印は午後1時まで開館。開館は10時からです。金曜日は午後8時まで開館しています。

6月・7月の移動図書館(いずれも木曜日です)

| 6月  | 7月  | 10:30<br>～11:00 | 11:10<br>～11:40 | 14:30<br>～15:00  | 15:10<br>～15:40 | 16:00<br>～16:30            |
|-----|-----|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|----------------------------|
| 6日  | 4日  | 塚森<br>公民館       |                 | 福地<br>三反長<br>地域内 | 米田<br>公会堂       | 竹広南<br>公民館                 |
| 13日 | 11日 | 岩見構下<br>公民館     | 岩見構上<br>公会堂     | 原池団地<br>公民館      | 山田<br>掲示板<br>前  | 原<br>太田東地<br>区農村交<br>流センター |
| 20日 | 18日 | 広坂<br>ポスト前      | 上太田<br>公民館      | 沖代<br>地域内        | 吉福<br>公民館       | 太子ニュ<br>ータウン<br>公民館        |

7月に一日図書館員を募集します。日時は7月28日(日)9:15～18:00 詳しくは書窓7月号でお知らせします。



高校2年生の理科は、生物、化学、物理から一つ選択することになっていた。まだなんとなかりそうと、生物を選んだものの、私の頭は先生の言葉も教科書の文章も受け付けず、試験はいつも情けない点数だった。

数年前に図書館で福岡伸一さんの『生物と無生物のあいだ』が話題になったときも、手を出せなかった。福岡さんの本が出るたびに、喜ばれる利用者を羨ましく見ていた。今、福岡さんの文章が楽しい。『生命の逆襲』に続き、『生命と記憶のパラドクス』を読んでいる。利用者Mさんの「いたるところで笑ってしまった」という『生命の逆襲』の宣伝のおかげだ。何を借りようかとうろろうしていたとき、目に入り、本当に楽しそうなるMさんの笑顔が浮かび、手に取った。大学で獣医学を修めたOさんに、高校生物が福岡さんのエッセイのよくな身近な話題を盛り込んだの授業だったらよかったのにと話し、私が読んだ福岡さんの本を取っておく約束をすると、「これも面白かったよ」と『シロアリ』(松浦健二著・岩波書店)を差し出してくれた。

利用者の「面白い」に助けられ、苦手だった分野に少しでも触れられるのが嬉しい。理解できなくても、毎晩、一、二編読んで眠ってしまっても、試験で理解度を試されることもなく、ただ楽しめるのがいい。(竹内)